

第2839回例会記録
 司会：渡辺 政俊 S A A



ロータリー：
 変化をもたらす
 2017-18 R I テーマ

本日のプログラム
 2017年 9月 7日(木) 12:30~
道路交通法の改正
 社会奉仕委員会：ゲスト卓話

次のプログラム
 2017年 9月14日(木) 12:30~
ゲスト卓話
 プログラム委員会

遠軽ロータリークラブ通常例会
 日時：2017年 8月31日(木)12:30~
 場所：ホテルサンシャイン 2F

★開 会 点 鐘：成田 弘明 会長
 ★国 歌：一
 ★R ソ ン グ：我等の生業
 ★四つのテスト：一

成田弘明会長ターゲット：誰かのために今できる事を

◇本日のゲスト

イト電商事(株)システム事業部 中村 淳一 様②

会長報告 成田 弘明 会長①

皆さんこんにちは。先日行われました花火大会におきましては、社会奉仕委員会をはじめとする会員のみなさん、お疲れ様でした。

さて、いよいよ8月も本日で終わり、朝夕はめっきりと涼しくなってきました。毎年8~9月頃と言えば「台風シーズン」。昨年の十勝地方に甚大な被害を出した台風10号、早くも一年前の事となりました。そこで今日は台風のあの奇妙な名前について少し調べましたので話をさせていただきます。

国内で最も多用されている台風の呼び名は台風何号といった「台風の番号」です。

しかし、特に甚大な被害をもたらした台風には台風の上陸地点の地名等を用いて気象庁により別途、伊勢湾台風、室戸台風などのように命名されることがあるようで、これは国内的な呼び方です。

では、あの不思議な台風のカタカナの名称ですが、実は国際的に共通な呼び方であって、アメリカ及び日本を含むアジア各国から構成された台風委員会というものによって定められた台風の国際的名称のことだそうです。我々や国内では少々マイナーな気がしますが、国外では広く使用されており2000年から台風の国際的な呼び名として使用されています。

その名前は全部で140個あり、140番目まで使用されると1番目に戻るといふ決まりが定められています。台風の年間発生数は、最低であった2010年の14回~最高であった1967年の39回、平均値が約25回となっていますので、名前はおよそ5~6年で一巡することになります。因みに日本からこの台風委員会に出されている名前はテンビン・ヤギ・ウサギ・カジキ・カンムリ・クジラ・コグマ・コンパス・トカゲ・ハトと10種類あります。先日発生しました15号はザンヴェーという名前です、これから発生する16号はマイクロネシアが命名したマーフーとなります。近いうちに日本の順番が来ますので新聞での台風見方も変わるとおもいます。



幹事報告 佐久間 英昭 幹事

- ① ガバナー事務所より「2020-2021年度ガバナー候補者推薦のお願い」の文書。
- ② ガバナー事務所より「2016-2017年度の地区決算報告書」が届いております。
- ③ 遠軽ライオンズクラブ「チャリティーパーティー開催のご案内」。10月21日(土)18:00より。
- ④ 9月のロータリーレートは1ドル=109円。
- ⑤ 訃報。加藤幸徳君の御尊父様ご逝去。
- ⑥ 会報原稿は藤田会員へお願いします。
- ⑦ 本日例会終了後、理事会を開催いたします。

委員会報告

◇上田 稔 クラブ奉仕委員長

来月開催の北電施設見学会について、参加者は配付資料の「留意事項」をご確認下さい。

◇東海林 勉 地区会員増強委員長

先週配布の「表3」のデータ②「会員数」に誤りがありました。正しくは本日発行「会報7号」2面の表です。

【名前の後ろの○数字は写真とその中の番号】

本日のプログラム

IoT、AI、ビッグデータが変える社会

東海林 勉 メディア委員長

ITに関する最新の情報提供と云うことで、メディア委員のイト電商(株)常務取締役 加藤幸徳君に標題のお話を頂く予定でしたが、都合により同社の中村様にお話をさせていただきます。③

中村 淳一 様②

IoT、AI、ビッグデータ、この三つ、または+アルファが組み合わせることで、今までにないサービスを利用出来て社会や生活に最大の効果を上げることが出来るようになります。

○IoT(Internet of things) について；

・あらゆるモノがネットにつながった状態(右図)。通信技術やセンサー技術の進化に伴い、従来のパソコンやスマホに加え、家電や自動車、ビル、工場などがネットにつながり、様々な情報をやり取りするようになる。ネットに繋がる機器は爆発的に増加しており、2016年には173億個に達した。今後も成長が続き、2020年には300億個～1000億個に増えるとも言われている。あらゆるモノがネットに繋がることで、これまで収集手段がなかった様々なデータを活用できるようになる。
 ・そのためには、低コストで利用可能な通信技術が必須となり、通信大手はこうしたニーズに適した仕組みを始める。また、セキュリティリスクが存在するので安全なシステム構築が必要となる。

○AI(人工知能=Artificial Intelligence)とは；

・計算機に人間の専門家の役割をさせようという「エキスパートシステム」と呼ばれる研究・情報処理システムの実現は、人間が暗黙に持つ常識の記述が問題となり、実用化が困難視されていた。
 ・インターネットの発達や膨大なデータの高速解析が可能になったことにより、自らの経験を元に学習を行う強化学習をコンピュータにさせることが可能となり、AI(人工知能)の活用が現実となりつつある。
 ・ディープ・ラーニングを導入し、囲碁や将棋のトップ棋士を破り、時代の最先端技術となった。
 ・将来は人間にとって代わる可能性がある。
 ・IoT技術との連携で様々な分野での活用が期待されている。



○ビッグ・データ(膨大な量のデータ)；

ITの進化に伴いビッグデータを高速で解析できるようになり、幅広いサービスへの応用が期待されている。例えば電子商取引サイトでは、顧客の年齢や性別、職業や地域に応じた商品の売れ筋を分析。消費者の嗜好に合った「お勧め商品」を提案することに利用されている。SNSの投稿内容と商品の売れ行きを結びつけ、マーケティングする企業もある。広告の効果を高めるだけでなく、不正取引や不正アクセスの発見・防止にも役立つとされる。ネット上で蓄積されるデータの量が急増するにつれ、ビッグデータ分析の市場も拡大が見込まれる。

AI(人工知能)の登場やビッグデータの活用、そしてIoTの通信環境の整備によりグーグルやアップル、アマゾンドットコムのような強者がますます強くなる状況にどう対処するかが、各国当局の課題となっている。

以上の事例として、北都交通(札幌市)はバスがどこを走っているのかをスマートフォンに知らせるシステムを提供している。

また、NTTコミュニケーションズはウェアラブルバンドを活用して作業員の心拍情報を取得し疲労度の計算に成功している。

他にも活用事例がたくさんある。

ニコニコ BOX

高井 一博 親睦活動委員長

高橋義詔君 北海道マラソン完走 3,000円
 2017-18年度合計 128,000円
 ☆閉会点鐘：成田 弘明 会長
 ☆今月会報担当：海野 功 委員

2017-18_8th-03

出席報告	例会日	会員数	出席計算 会員数	出席者数	メイク アップ	出席率	無断欠席	編集・発行：メディア委員会 委員長：東海林勉 副委員長：藤田禮三 委員：竹森英樹 海野 功 佐藤直也 張江紀代美 本吉春雄 加藤幸徳
北野 義樹 出席副委員長	8月24日	39	36	25	5	83.3%		
	8月31日	39	36	27		75.0%		

2017-2018年度 国際ロータリー
 会長：イアン H.S.ライズリー
 第2500地区ガバナー 成瀬則之(網走RC)
 第4分区分ガバナー補佐 川村壽光(中湧別RC)

遠軽ロータリークラブ www.engaru-rc.com
 会長：成田弘明 副会長：金谷 正一
 会長エレクト：遠藤利秀 幹事：佐久間英昭
 会計：島田光隆 SAA：渡辺政俊
 直前会長：黒坂貴行 事務局員：高野郁子
 ◇1959年9月12日創立/1959年11月7日認証
 【事務局】〒099-0415 北海道紋別郡遠軽町岩見通南2丁目 遠軽商工会議所内
 Tel 0158-42-5201 Fax 42-5134 E-mail: info@engaru-rc.com
 【例会場/日】北海道紋別郡遠軽町大通北1丁目 ホテルサンシャイン Tel 0158-42-1151 毎週木曜日12:30～13:30 *第3木曜日は夜間例会 18:00～(19:00)

